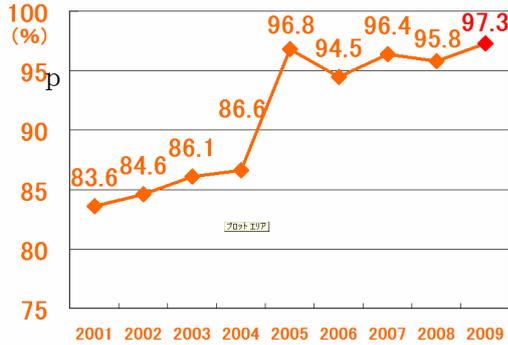
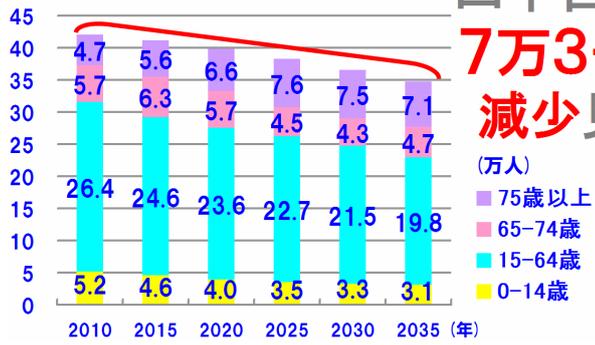


経常収支比率の推移



将来人口の推計



四半世紀で
7万3千人
減少見込

地域	割合
全国	81.6%
千葉県	100.0%
富山県	100.0%
愛知県	100.0%
東京都	96.0%
神奈川県	16.1%
大阪府	7.7%
三浦市	100.0%
横須賀市	0.0%
鎌倉市	0.0%
横浜市	0.0%
逗子市	0.0%
葉山町	0.0%

完全給食実施の割合

見直すべき事業名	削減幅
1)中央斎場の市民無料火葬事業	1.9億円
2)横須賀芸術劇場の芸術普及事業	1.5億円
3)住宅用太陽光発電システム設置費補助制度	0.1億円
4)一般電気事業者からの電力調達	1億円～
削減可能額 計4.5億円～	

中学校給食に必要な予算 約4.5億円

火葬事業の近隣自治体比較
(十二歳以上)

自治体名	市民料金	市外料金	運営形態
横須賀市*1	0	16,600	公営
相模原市	0	45,000	公営
茅ヶ崎市	0	80,000	公営
平塚市	0	95,000	公営
川崎市	3,000	30,000	公営
三浦市	6,000	15,000	公営
藤沢市	10,000	80,000	公営
横浜市	12,000	50,000	公営
逗葉鎌倉S社*2	40,000	50,000	民営
横浜市N社*3	57,000	57,000	民営

*1:横須賀市は24年度より市外料金を¥50,000に値上げ予定
*2:逗子市、葉山町、鎌倉市から建設時等に補助金出ている
*3:横浜市民は、¥16,000の補助を受けられる。¥95,000の窯もある

芸術普及事業の関連費用	削減幅
芸術普及事業の 収支の差の赤字	3727 万円
事業部職員12名の人件費 (1人あたり613万円)	7362 万円
劇場運営費の広報費から 広告料収入を除いた額	4371 万円
削減可能額 計1億5460万円	

太陽光発電電力の買取価格(1kWhあたり)

区分	H21当初	H23現在	今後
一般住宅	48円	42円	30円台後半?
	余剰電力 10年固定	余剰電力 10年固定	余剰電力 10年固定
非住宅 公共施設や 民間ビル等	24円	40円	?
	余剰電力 10年固定	余剰電力 10年固定	全量買取 15~20年